

徴収の現場から(第2回)



厚生労働省国民健康保険料(税)収納率向上アドバイザー 堀 博晴

昭和42年江戸川区役所に入都。

東京都総務局小笠原支庁、同和対策部、災害対策部、主税局足立都税事務所整理第二課長、新宿都税事務所整理第二課長、練馬都税事務所納税課長、課税部軽油特別調査室副参事、徴収部機動整理課長、徴収指導室長を歴任し、平成17年4月より現職。

ヤフー株式会社メディアサービスカンパニー

企画本部官公庁担当兼ソーシャルアクション室官公庁営業企画

平成23年10月24日からNPO法人ローカルガバメント・ネットワーク(LGNet)理事長就任

機動整理課長の時、全国で初めてのインターネット公売を実施し成果を上げる。「ネット公売を全国に広げたい」と、自らヤフーのスタッフ募集に応募する。インターネット公売の説明に全国の自治体を飛び回る。著書には、インターネット公売のすべて(ぎょうせい)、自治体増収大作戦-インターネットが変えた(ぎょうせい)がある。

与を中心とする差押えの徹底をしました。2名の徴税吏員で差押件数は389件、差押額31,193,395円、差押充当額17,063,455円(前年度比+338件、差押額26,990,613円、差押充当額15,436,822円)に上り、厳しい国保会計の財源となる延滞金についても安易な減免をせず、倍増となる17,816,403円を徴収したそうです。

この差押えの徹底を図る前は保険税を納付しないと保険証の期限更新を拒んでいたそうですが、いつでも差押えができる腕力があるので、納付しなくても最低限の保険証の期限更新を行い医療機関での受診機会の確保を図るようにしたそうです。

差押分は滞線分から充当することとしたため滞線分収納率評価基準である20%は継続的に超え、県内11市のトップの収納率を誇るようになったそうです。

1 石垣市のプロフィール

今回は日本最南端の市である石垣市の取り組みをご紹介します。

石垣市は、沖縄本島から南西に約500km行った沖縄県八重山諸島の政治、経済、産業、交通の中心地となっている市で、ホノルルやマイアミとはほぼ同緯度(北緯24度20分)で日本列島最南端の都市です。年間の平均気温は24.2度、平均湿度は77%、温暖多湿な亜熱帯気候で19の島からなっています。最近話題になった尖閣諸島も石垣市です。

平成24年3月末現在の人口は47,853人で世帯数は21,534世帯、うち国保世帯数は9,946世帯、国保被保険者数は19,293人です。

2 転機は徴税吏員2名の配置から

石垣市の健康保険課では平成17年度まではあまり差押えをしていなかったそうです。ところが平成18年に市税の徴収を担当していた職員2名が配置され、預貯金、給

3 保険税はアンビリーバブル

健康保険課保険税係長の吉村さんは、国による補助金ペナルティーに続く県補助金インセンティブからも、保険税においては特に現年分を優先とする収納率向上対策



健康保険課による搜索の様子

を図る必要があり、差押えだけでは現年度分にまで結び付かない現実があると言います。

また、擬制世帯主制度、転入出や社保加入離脱の月割課税、未届け期間の遡及課税、市町村ごとに異なる保険税率、医療機関にかかりながらも支払わない使用料感覚者、納期未到来だけ適用させている減免制度等々、国保制度は誤認されやすいため「ことばの力」が強く求められると言います。

そして、国保では市税の徴収と違い、保険税の課税に至る説明も必要であり、かつ、医療分、支援分、介護分（保険税の用途）×一般分・退職分×現年度分・滞繰分の12種類の予算から月割課税の按分増減が頻繁にあり、この管理も労を要しているとのこと。

国保税を扱う現場は、市税徴収部門では想像できないくらいアンビリーバブル(信じられない!!)な世界だと言います。しかし、吉村さんはこういう現場にいることをただ嘆いているのではなく、「保険税を扱うということは、徴税と福祉の両方が経験できる「学べば尊し」の公務職場だとも言っています。

4 「ジャンプアップ国保」課内学習会

吉村さんは、誤認されやすい現年度分収納率を向上させるには徴税吏員の差押えだけでは不十分で、組織的な「ことばの力」による「ぶれない・一丸となる納税折衝」を展開する必要があると言います。そして、福祉的支援も含めた厚みのある納税折衝力を養うため、平成18年度から22年度まで18回にわたる「ジャンプアップ国保」と称した課内学習会を続けています。

その内容は、納税折衝のあり方、多重債務、児童虐待・DV、生活保護、申告・納期内納付の意義、国民皆医療保険制度の尊さが描かれたマイケルムーア監督映画「シッコ」DVD鑑賞、佐世保市国保NHK「搜索」収録

DVD鑑賞、地元警察署刑事課長による行政対象暴力など多岐にわたっています。

また、毎月定例の納税指導員会議の議事録を毎回作成し、重要事項の再確認や会議に出席しない非常勤職員まで含めた取り組みの周知徹底を図ったそうです。

このような取り組みにより、平成21年度には現年度一般分収納率が91.05%で初めて普通調整交付金ペナルティーが解除になったそうです。

また、徴収指導員の「集金業務」について公金管理の問題から平成22年12月から「集金業務」を廃止し、名称も徴収指導員から納税指導員に改めました。滞納者のペースになりやすい集金業務を廃止したことで、その時間を納税指導に充てることができ、遅まきながら、「税金は集金するものではなく持参債務である」という基本の大切さを感じていると吉村さんは言います。

5 高額滞納者対策の実施

平成23年度には市税部門から搜索、タイヤロック、不動産公売の経験のある職員が配属になったのを機に、高額滞納者対策を実施しました。滞納額50万円以上の高額順に財産表示した高額滞納者リストを作成し、搜索により換価価値の高い財産を差押さえることにしたそうです。

その成果は、

- ①最高額滞納者宅の搜索により、現金8万円、動産24点
- ②農地の差押え3件のうち2件は公売直前に完納(1,714,520円、1,672,800円)残り1件は公売で450,000円で落札。



インターネット公売下見会(国保の窓口の前で開催)

③軽自動車のタイヤロックでは、滞納額1,480,150円に対して毎月13万円の分納誓約(現在履行中)

④2名の滞納者が所有しているマンションの収入を管理している不動産会社に対し、支払督促前提の厳しい交渉で2軒分が一括完納(1,549,400円、1,278,417円)

⑤社会保険に加入していない企業の役員への給与債権差押に応じない第三債務者への支払督促(5月30日執行官による売上金の差押え)

などなど大きな成果が出たと同時に、限られた職員で多忙な中、高額滞納者から攻めたことに対する徴税吏員の自信は計りしれないものがあったそうです。

6 国保は福祉でないの?

吉村さんは言います。「国保は福祉だからということ、全国的に今まで捜索までは控えられてきました。しかし、医療費に充てられる保険税は福祉目的税だからこそ、滞納していても医療機関で受診できる機会の確保に努めながら、



健康保険課のみなさん(左端が吉村さん)

国民皆医療保険制度の充実のため、捜索をはじめとする財産調査の徹底による差押え強化は図らなければならない。そして、換価価値のある財産が無ければ、滞納処分は執行停止にもつながってきます。引き続き、世界に冠たる我が国の国民皆医療保険制度の充実に向け、団結して保険税収確保に努めて行きます」と。

石垣市の皆さんの頑張りには本当に驚かされました。皆さんもこの石垣市の取り組みで参考になるものがありましたら是非真似をしてみてください。

